



海外エネルギー事業

アップストリーム事業
ダウンストリーム事業

2015年3月期の海外エネルギー事業は、売上高が137億円となりました。また、セグメント利益は12億円*1となり、大阪ガスグループの利益の約1%*1を占めています。

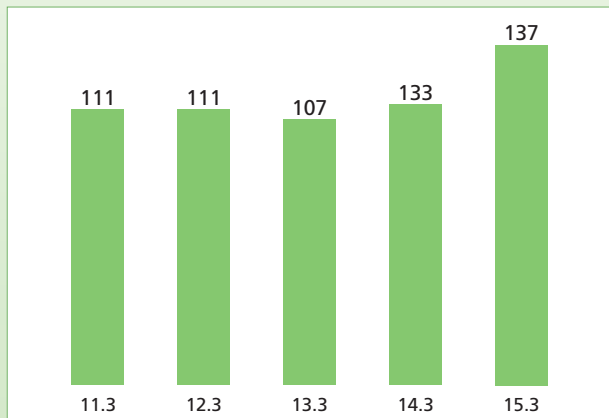
大阪ガスグループは、エネルギー事業者として、早くから天然ガスバリューチェーンに注目し、海外における天然ガス採掘などのアップストリーム事業から、LNG基地事業やIPP事業、エネルギーサービス事業などのダウンストリーム事業まで幅広くビジネスを展開しています。

さらに自社で保有するLNG船を活用したトレーディング事業の拡大などに取り組んでいます。

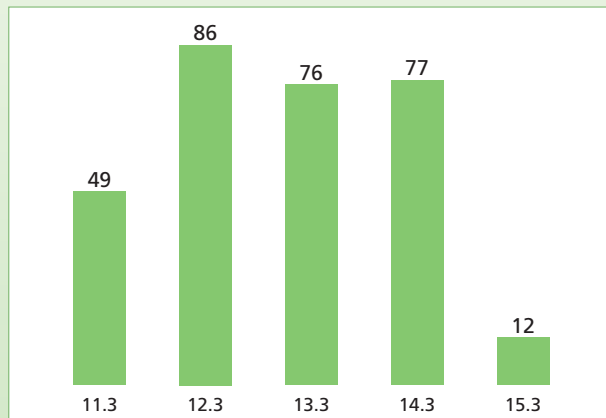
セグメント利益*2構成比
(2015年3月期)



売上高 (億円)



セグメント利益*2 (億円)



※2015年3月期より、再生可能エネルギー事業について、従来は「環境・非エネルギーセグメント」に位置付けておりましたが、事業内容に応じて「LPG・電力・その他エネルギーセグメント」または「海外エネルギーセグメント」に移管しています。そのため、2015年3月期以降のデータには海外の再生可能エネルギー事業を含めております。

*1 フリーポート気化事業の整理等に伴い一時的な費用を計上した影響により、前年に比べ大きくセグメント利益が減少しています。
*2 セグメント利益=営業利益+持分法による投資損益

アップストリーム事業

■事業の概要と特徴

資源開発は、LNG調達に有益な知見の獲得に留まらず、グループ全体の収益拡大に寄与するとともに、原油価格の高騰・為替の変動に対するナチュラルヘッジ機能を果たし、収益の安定化にも貢献しています。

今後は既に参画を意思決定した案件を着実に推進しつつ、さらなる新規案件への参画も視野に入れ、将来的にはLNG必要量の30%程度を自社が関与するプロジェクトから獲得していきたいと考えています。

■主なアップストリーム投資案件の状況

米国テキサス州のフリーポートLNGプロジェクトにおける液化事業は、米国連邦エネルギー規制委員会から建設許可を取得し、2014年11月に着工しました。米国の天然ガス市場から原料となる天然ガスを調達するためのパイプライン使用契約を締結するなど、2018年頃の出荷開始に向けて準備をすすめています。また、2016年以降はゴーゴンLNGプロジェクト、イクシスLNGプロジェクトなどこれまで投資してきた案件の生産が開始される予定です。

■主な投資案件の事業開始スケジュール



ダウンストリーム事業

■事業の概要と特徴

国内エネルギー事業で培ったノウハウの海外展開と安定的な収益の確保を目指し、北米・豪州・欧州などでLNG基地事業やIPP事業などに参画しています。

またエネルギー需要の増加が見込める東南アジアにおいても天然ガス販売事業やエネルギーサービス事業*を展開し、さらなる事業領域の拡大に向けて取り組んでいます。

*お客さまが初期投資を必要とせず、使用したエネルギー量に応じた料金を支払うだけで、天然ガス設備などを導入できるサービス

■海外における発電事業の展開

当社は、安定した収益の確保と知見の獲得を目的に米国、豪州などで発電事業を展開しており、現在約105万kW（大阪ガスグループ持分）の海外電源を所有していま

す。2015年6月には米国・メリーランド州において建設中のセントチャールズ天然ガス火力発電事業に参画しました。今後も海外における発電事業を推進してまいります。

■東南アジアにおける天然ガス販売、エネルギーサービス

当社では2013年3月にシンガポールに現地法人を設立後、国内で培ったコージェネ・ボイラ・焼却炉などに関する省エネ技術を活用し、シンガポールおよびタイの産業用市場において天然ガス販売事業、エネルギーサービス事業を展開しております。

経済成長が期待される東南アジアにおいて、重油などからクリーンな天然ガスへの燃料転換を促進し、省エネルギーの促進に貢献していきます。



海外エネルギー事業の投資の状況

- LNGプロジェクト・ガス田などのアップストリーム事業への参画案件
- LNG受入基地・IPPなどのダウンストリーム事業への参画案件
- 大阪ガス関係会社（海外エネルギー事業関連）



ノルウェー領北海
(出光スノーレ石油開発)



サグントLNG基地



フリーポートLNG基地
提供:Freeport LNG Development, L.P.



オーロラ太陽光発電



LNGプロジェクト・ガス田などのアップストリーム事業への参画案件

- 1 ノルウェー領北海 (出光スノーレ石油開発)
2005年参画: 参画比率2~4%
- 2 サグントLNG基地
- 3 カルハットLNG
2006年参画: 参画比率3% LNG生産量: 330万トン/年
- 4 シュワイハットS2
2011年参画: 持分比率10% (保守運転会社への出資比率: 25%)
持分発電容量: 15.1万kW 持分造水能力: 1,000万ガロン/日
- 5 ゴーゴンLNGプロジェクト
2009年参画: 参画比率1.25% LNG生産量: 1,500万トン/年 (計画)
(2015年生産開始予定)
- 6 ユニバース・ガスアンドオイル (サンガサンガ・ガス田)
1990年参画: 参画比率1.5%
- 7 日本コールベッドメタン (サンガサンガCBM)
2009年参画: 参画比率1.8%
- 8 クラックス・ガス・コンデンセート田
2007年参画: 参画比率3%
- 9 サンライズLNGプロジェクト
2000年参画: 参画比率10% LNG生産量: 約400万トン/年 (計画)
- 10 エバンスジョール・ガス田
2000年参画: 参画比率10%
- 11 イクシスLNGプロジェクト
2012年参画: 参画比率1.2% LNG生産量: 840万トン/年 (計画)
(2016年生産開始予定)
- 12 パプアニューギニア西部・ガス・コンデンセート田
2014年参画: 参画比率10~20% (比率は鉱区により異なる)
- 13 コルドバ・シェールガス開発プロジェクト
2011年参画: 参画比率3.75%
- 14 ピアソール・シェールガス・オイル開発プロジェクト
2012年参画: 参画比率35%

LNG受入基地・IPPなどのダウンストリーム事業への参画案件

- 15 EII (エナジーインフラストラクチャーインベストメンツ)
2008年参画: 持分比率30.2% パイプライン4件、ガス精製設備2件
発電所2件、電力連系線2件 持分発電容量: 1.8万kW
- 16 ハレット4風力発電
2009年参画: 持分比率39.9% 持分発電容量: 5.3万kW
- 17 マリアナス・エナジー IPP
2005年参画: 持分比率100% 持分発電容量: 8.7万kW
- 18 CITY-OG Gas Energy Services
2013年参画: 参画比率49% ガス販売事業
- 19 大阪ガスタイランド
2013年参画 エネルギーサービス事業
- 20 大阪ガスパワーアメリカ
2005年参画: IPP 8件 持分発電容量*: 35.9万kW
*マリアナス・エナジー IPP (8.7万kW) の持分50%を含まない
- 21 テナスカゲートウェイIPP
2004年参画: 持分比率40% 持分発電容量: 33.8万kW
- 22 フリーポートLNG基地
2008年参画: 持分比率10.81% 気化能力: 1,300万トン/年
- 23 オーロラ太陽光発電
2012年参画: 持分比率50% 持分発電容量: 5.1万kW
- 24 セントチャールズ天然ガス火力発電
2015年参画: 持分比率25% 持分発電容量: 18.1万kW
(2017年運転開始予定)